

令和4年度に行う主な施策と予算

新型コロナウイルス接種体制 確保事業 1億1,526万円	新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保し、ワクチン接種を円滑に行います。
橋梁長寿命化等事業 9,255万円	橋梁の定期点検および光風台大橋の改修工事などを行います。
牧地区ほ場整備事業 1,486万円	牧地区のほ場整備事業に伴い、ほ場整備工事（第1期）を行います。
支障木伐採業務委託事業 1,000万円	「豊能町支障木伐採計画」に基づき、緑地などの支障木の伐採を行います。
コンビニ交付システム導入事業 935万円	マイナンバーカードを使用し、住民票、印鑑証明のコンビニ交付を行うためのシステム導入を行います。
スマートシティ推進事業 745万円	大阪モデルのスマートシティ実現に向けて、企業や大学などと連携し、地域・社会の課題解決に取り組んでいきます。
地域の魅力創出事業 726万円	地域おこし協力隊を募集し、株式会社能勢・豊能まちづくりと連携しながら、地域の活性化に取り組んでいきます。
GIGAスクールサポーター 配置促進事業 679万円	学校のICT化を推進する技術者を学校に派遣し、ICT環境整備、マニュアル作成など情報機器を利用した学校教育の向上を図ります。
高山地区ほ場整備事業 437万円	高山地区のほ場整備事業に伴い、ほ場整備工事に必要な境界測量、詳細設計などを行います。
GIGAスクール教育支援 システム配備事業 393万円	タブレット端末を利用した教育支援システムの導入を行います。
保幼小中一貫教育推進事業 139万円	保幼小中一貫教育の推進を図るため、学校運営協議会の設立準備を進めるとともに、先進地への視察などを行います。
議会放映充実事業 17万円	本会議の議会放映の対象を一般質問以外にも拡大するための環境整備を行います。

当初予算の総額

(単位：千円/%)

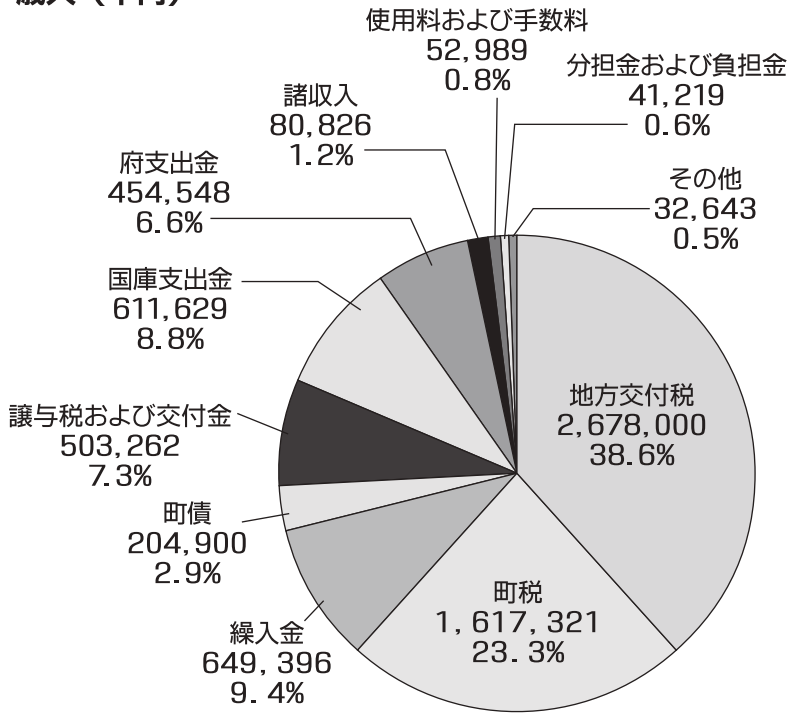
会計名	令和4年度(ア)	令和3年度(イ)	増減額 (ア)-(イ)=(ウ)	対前年度比 (ウ)/(イ)%	
一般会計	6,926,733	7,127,000	△200,267	△2.8	
特別会計	国民健康保険事業勘定	2,828,827	2,727,866	100,961	3.7
	国民健康保険診療所施設勘定	89,260	102,557	△13,297	△13.0
	後期高齢者医療	688,126	579,517	108,609	18.7
	介護保険事業勘定	2,456,639	2,318,109	138,530	6.0
	下水道事業	455,871	473,595	△17,724	△3.7
	小計	6,518,723	6,201,644	317,079	5.1
合計	13,445,456	13,328,644	116,812	0.9	

※一般会計予算については、ユーベルホール管理事業に関する部分を一部修正の上、可決されました。

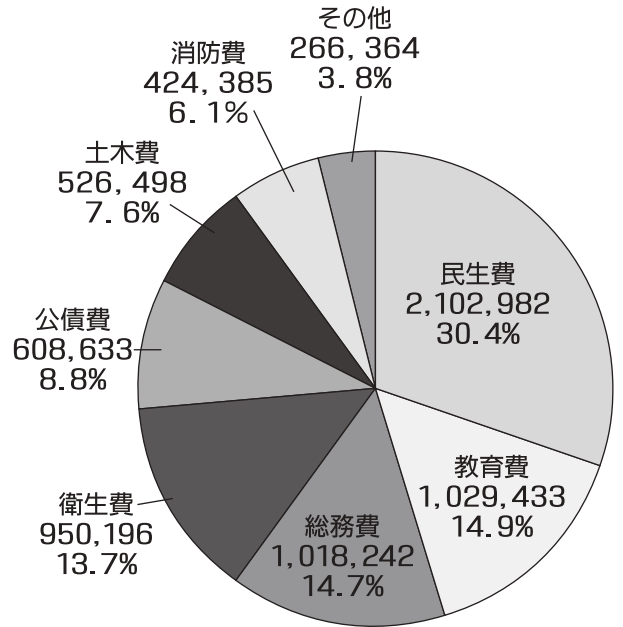
令和4年度一般会計当初予算

69億2,673万3千円

歳入 (千円)



歳出 (千円)



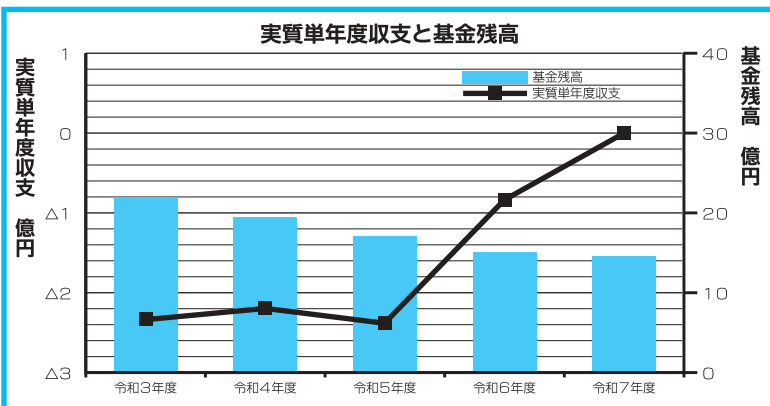
各グラフにおける%の値は、合計を100%に合わせるため、四捨五入の値と異なる場合があります。

豊能町の財政推計 (令和4年3月現在)

令和4年3月現在における豊能町の財政推計(令和3年度～7年度)を作成しました。下のグラフで、折れ線グラフ(数値は左軸)は実質単年度収支※1の額を、棒グラフ(数値は右軸)は基金残高※2を示しています。

この推計は、「決算が赤字」にならないよう実質収支を±0にするため、基金を取り崩す想定で作成しています。結果として、実質単年度収支の額が概ねマイナス(グラフでは△印)となっており、令和4年度以降の金額は、各年度において基金を取り崩す金額を示しています。(グラフ参照 例えば令和4年度は、約2億円の取り崩しが必要)

このように、本町における今後の財政運営は、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況です。財政の健全化に向けては、行財政改革プラン2019や公共施設再編計画などにより、経費の削減に努め、基金を取り崩さないような財政運営を行っていく必要があります。



※1 実質単年度収支

前年度からの繰越金を除いた、当該年度だけの歳入・歳出を差し引きした額(単年度収支)から、基金の積立や取崩しなど、実質的な黒字・赤字要素を控除した額です。

※2 基金残高

基金とは、町の貯金にあたるものです。グラフの基金残高は、一般会計における現金ベースによる金額です。

問=行財政課 ☎739-3414

持続可能なまちを目指して

～公共施設のこれからを考える～

Vol.1



1. 豊能町の公共施設(建物)の状況について

これまで本町では、高度経済成長とこれに伴う人口増加を背景とした行政需要の高まりにより、多くの公共施設整備に取り組んできました。その結果、住民の利便性が向上した一方で、今後、これらの高度成長期からバブル期にかけて建設した建物の多くが数十年の間に経年劣化による老朽化が急速に進むことになり、建物に係る修繕に要する費用が増大し大きな財政負担となります。

さらに少子高齢化の進行による人口構造の変化やそれに伴う住民ニーズの変化、社会保障経費の増大など、公共施設を現状のまま維持していくことが極めて困難になっています。

このまま放置しておく・・・

<建物が危険な状態に>

公共施設を安全かつ適正に維持、保全していくために必要な修繕にお金が回せず、建物の老朽化に伴う危険な施設が増加し、施設の使用禁止や閉鎖が相次ぐ！

<ニーズに対応できない>

公共施設に係る資金不足から少子高齢化や社会情勢の変化に伴う新たな住民ニーズに対応できなくなり、人口の流出をまねく恐れがある！

<財政負担が増大>

全ての公共施設を維持し、立て替えをしていくために、多額の借金が必要になり、将来、使用料や税負担など、大きな負担の増加をまねく。財政破綻の危険性もある！

2. 今後の取り組みの方向性について

本町では、公共施設に関する諸課題への認識を深め、これらの課題を全庁的に議論し、解決策を考えていくため外部有識者を含めた「豊能町公共施設再編検討委員会」からの意見をいただきながら、将来を見据えた公共施設の再編に取り組んでいきます。

豊能町公共施設再編に関する中間報告書（令和4年1月とりまとめ）

人口減少や財政規模に応じた施設規模の適正化を図ります

機能集約により統廃合や複合化を視野に入れた施設の有効活用を図ります

利用者負担の適正化と多世代の住民が利用しやすくなる環境を図ります

公民連携の視点からも持続可能なまちづくりに向けた施設の整備を図ります

例えば・・・



担当
まちづくり創造課
☎739-3412



豊能町が進める施設再編は、単に施設を減らしコストダウンを図るのではなく「公共施設・公共空間のより良いかたち」を実現させていくことを目指しています。

●より良いかたちって？

施設の機能などによって「より良いかたち」のイメージはそれぞれ異なるものですが、共通しているのは時代のニーズに対応したかたちであること。
 昨年実施したワークショップでは「多世代交流の場にする」や「民間の力を借りて充実させる」などの意見がありました。

●再編の推進におけるポイントとは？

より良いかたちを行政だけで実現していくことは出来ません。公共施設の再編は、将来を見据えて公共サービスを提供していく仕組みを再構築する取り組みでもあり、これまで以上に住民の皆さんや民間事業者のアイデアや工夫、協力が求められています。公共施設の再編を将来につながる新たなかたちに変えるチャンスと捉え、今できることをみんなで考えて実行しながら、より良いかたちを実現していきましょう。

問=まちづくり創造課 ☎739-3412

住民ワークショップのお知らせ

内 容…「これからの公共施設について一緒に考えよう」

日 時…6月25日（土） 午前10時～正午

場 所…西公民館（光風台5-1-2）

応募要件…豊能町の居住者で豊能町職員以外の方30名程度

応募方法…メールまたはお電話にてお申込みください。

応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

☎739-3412（まちづくり創造課）

mail : machisouzou@town.toyono.osaka.jp

応募締め切り…5月20日（金）

証明書交付手数料のキャッシュレス決済導入について

本庁および吉川支所の窓口で交付する住民票の写しや所得課税証明書等各種証明書の交付手数料の支払いに、クレジットカード、電子マネーおよび二次元コード決済が利用できるようになりました。

利用できるキャッシュレス決済の種類については、お問い合わせください。

<注意事項>

- ・キャッシュレスと現金の併用はできません。
- ・クレジットカードは一回払いのみです。
- ・ポイントでのお支払いはできません。
- ・窓口でのチャージはできませんのであらかじめ残高をお確かめください。

問=税務等証明書……………税務課☎739-3417

住民票・戸籍等証明書…住民人権課☎739-3418

「豊能町行財政改革プラン2019」の進捗状況について

町では、基金の取り崩しに頼ることのない健全な財政運営を目指すため、令和元年8月に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定しました。

このプランは、「組織・機構の改革」「行政経営の改革」「財政運営の改革」「施設運営の改革」の4つの改革について具体的な項目を設定し、令和4年度までの実現に向け取り組みを進めているところです。令和4年1月31日現在で昨年度から変更のある主な項目を取りまとめましたのでお知らせします。

問＝行財政課 ☎739-3414

(1) 組織・機構の改革の全ての項目について、令和2年4月より実施済みです。

(2) 行政経営の改革

項目	取組の内容	進捗状況
自治体クラウドの推進	本町、河南町、千早赤阪村の3町村で基幹系以外のクラウド化の研究・協議を進めます。	島本町が新たに参加しました。(令和3年4月稼働)
国保診療所の持続可能な運営方策の検討	医療の充実を図るとともに、効率的な運営を目指すため指定管理者制度などについても検討します。また、将来的に一般会計に頼らない自主運営に向けた方向性も併せて検討します。	医師の勤務体制を確保し、週5日診療の開始時期の検討を行います。
右近の郷の運営形態の検討	さらなる民間活力の導入や指定管理者制度などの運営形態について検討します。	施設、運営形態の見直しを行っていきます。
ごみ収集業務の民間委託拡充などの検討	現行のごみ収集業務の体制やコストを踏まえ、ごみ収集のあり方について、民間委託の拡充など多面的に検討します。	職員の退職などにより体制が維持できない状況となる時期を目途に委託の拡大に向けた検討を進めます。

(3) 財政運営の改革

項目	取組の内容	進捗状況
ふるさと納税の充実	新規返礼品の開拓や新規寄付者、リピーターの増加など、ふるさと納税の充実を図ります。	新規返礼品の追加を行い、新規寄付者の開拓に向けてPR方法の検討を行っていきます。
コインパーキングの導入の検討	ときわ台駅前などでのコインパーキングの導入を検討します。	旧社会福祉協議会建物の解体を行い、検討の結果、売却に向けての準備を進めていきます。
ごみ収集の有料化	ごみ収集の有料化について検討します。	引き続き減量化を呼びかけるとともに、公平性確保の観点も含めた有料化を検討します。
負担金、補助金などの見直し	各種負担金や補助金などによる支援がより効果的、効率的なものとなるように見直しを検討します。	各部署において、検討・協議中です。(令和4年度当初予算から取り組み中です。)

(4) 施設運営の改革

項目	取組の内容	進捗状況
公共施設のあり方の検討	「公共施設再編検討委員会」を設置し、本庁舎を含めたすべての公共施設のあり方を検討します。	有識者を含む委員会での検討を行い、中間報告を取りまとめました。今後、住民ワークショップを開催し、住民の意見も踏まえた議論を進めていきます。
光風台自転車駐車場の合理化	需要調査の結果に基づき第2自転車駐車場および駅前ロータリーを改修し、光風台自転車駐車場の合理化を図ります。	令和3年度末に工事が完了し、令和4年4月に利用開始しています。
保育所および幼稚園の再配置	西地区の保育所と幼稚園を統合し、保幼連携型認定こども園を開設します。	こども・子育て審議会での提言を受け、再配置に向けて具体的な内容の検討を進めていきます。